

**群馬県での豚熱発生に係る
防疫対策連絡会議
(持ち回り開催)**

開催日：令和3年11月29日（月）

**出席：知事、副知事、危機管理局、
生活環境部、農林水産部**

会議内容

- 1 豚熱の国内発生状況
- 2 群馬県の発生事例の概要
- 3 国の対応状況
- 4 鳥取県の対応状況
 - (1) 群馬県の発生事例に対する鳥取県の対応
 - (2) 今後の豚熱防疫体制
- 5 お願い

豚熱の国内発生状況

- 1 平成30年9月9日、岐阜県養豚農場で発生(1例目)し、令和3年1月にかけて岐阜県、愛知県、長野県、三重県、福井県、埼玉県、山梨県、沖縄県、群馬県、山形県及び和歌山県で発生。今年3月以降も、**奈良県、三重県、栃木県(2例)、神奈川県、山梨県(2例)、滋賀県のいずれもワクチン接種農場で発生。**今回の群馬県での発生事例は5例目。
- 2 野生いのししの感染は25都府県に拡大。
兵庫県では、令和3年3月16日に丹波市の死亡いのしし2頭で初確認し、**11月17日まで55頭の陽性を確認。**

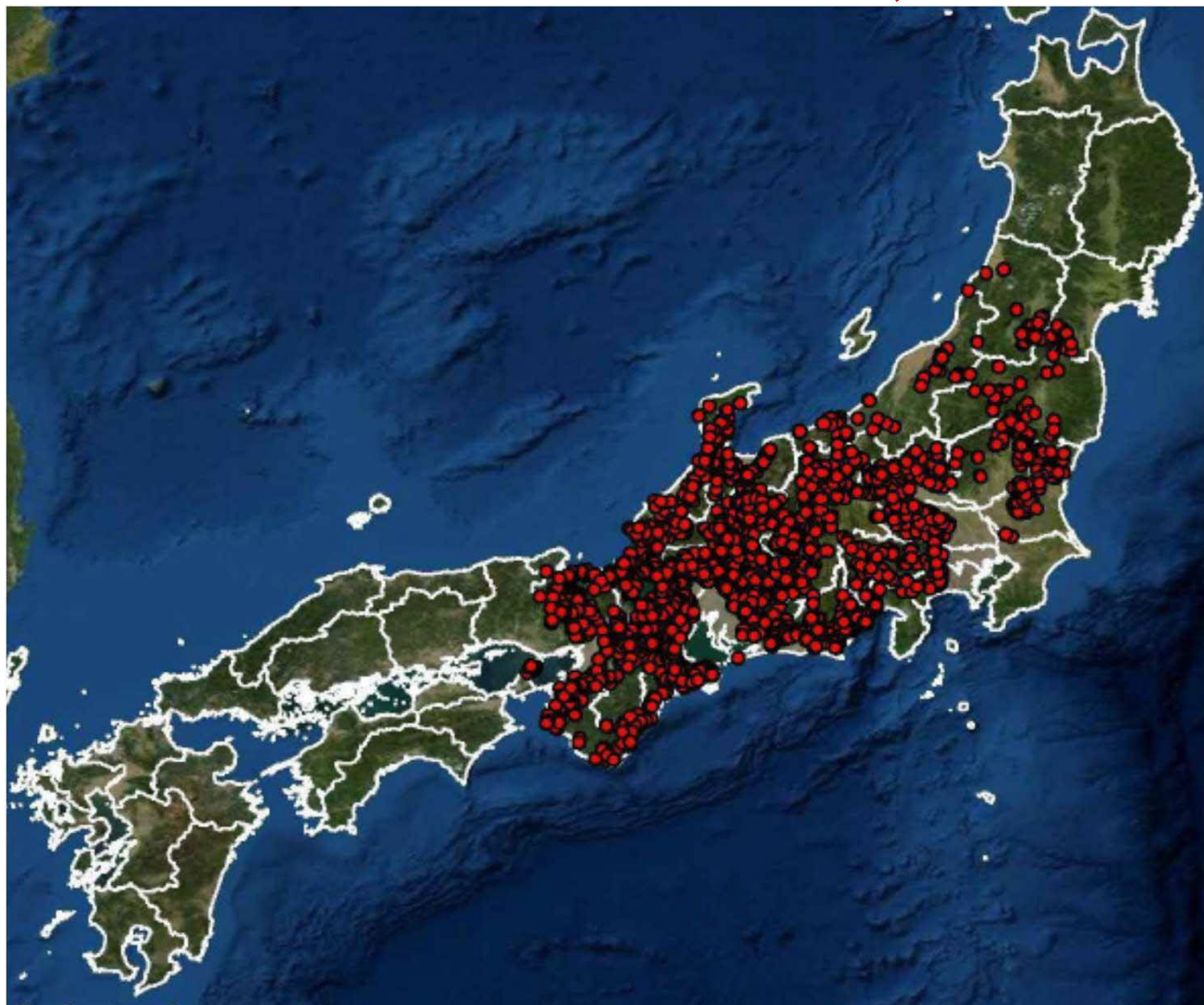
豚熱の国内発生状況(飼養豚)

No.	発生地	畜種	発生日	飼養羽数	防疫措置完了日	その他
1~58	岐阜、愛知、長野、三重、福井、埼玉、山梨、沖縄	豚、いのしし	H30.9.9~ R2.3.12	138,527頭		
59	群馬県高崎市	豚	R2.9.26	5,887頭	R2.10.9	
60	山形県鶴岡市	豚	R2.12.25	1,250頭	R2.12.29	
61	三重県伊賀市	豚	R2.12.29	7,026頭	R3.1.7	
62	和歌山県かつらぎ町	豚	R3.1.26	267頭	R3.1.29	
63	奈良県奈良市	豚	R3.3.31	1,089頭	R3.4.3	
64	群馬県前橋市	豚	R3.4.2	9,970頭	R3.4.16	(関連1農場含)
65	三重県津市	豚	R3.4.14	10,000頭	R3.4.23	
66	栃木県那須塩原市	豚	R3.4.17	17,266頭	R3.5.17	
67	栃木県那須塩原市	豚	R3.4.17	22,096頭	R3.5.17	
68	山梨県中央市	豚	R3.5.11	2,523頭	R3.5.18	
69	神奈川県相模原市	豚	R3.7.8	4,328頭	R3.7.21	(関連1農場含)
70	山梨県道志村	豚	R3.8.6	1,700頭	R3.8.11	
71	群馬県桐生市	豚	R3.8.7	5,000頭	R3.8.26	
72	滋賀県近江八幡市	豚	R3.10.6	1,400頭	R3.10.10	
73	群馬県前橋市	豚	R3.10.19	3,900頭	R3.11.1	(関連1農場含)
74	群馬県桐生市	豚	R3.11.26	2,400頭		

豚熱の国内発生状況(野生いのしし)

野生いのししでの検出状況(令和3年11月17日時点農水省調べ)

- ・陽性例は25都府県で確認(4,130頭)



群馬県の発生事例の概要

1 農場の概要（国内74例目）

場所：群馬県桐生市

飼養状況：2,400頭

2 経過

11/25 農場から死亡頭数が増加との通報を受け群馬県が立入検査を実施。

群馬県の検査により10頭中9頭が陽性
国へ材料を送付し精密検査を実施

11/26 国の遺伝子解析で豚熱感染確認

3 群馬県の対応

- ・ 殺処分開始（11月26日深夜開始）
- ・ 豚熱ワクチン接種区域のため、移動制限及び搬出制限無し

国の対応状況

■ 11月26日(金)

- ・農林水産省豚熱、アフリカ豚熱対策本部会議の持ち回り開催
- ・全都道府県へ情報提供
- ・飼養衛生管理基準の遵守、早期発見、早期通報徹底を通知
- ・群馬県へ国の疫学調査チーム派遣を決定

■ 国の野生いのしし対策

- ・捕獲強化対策(ワナ増設等)
- ・農場への侵入防止対策(侵入防止柵設置支援)、全国の都道府県対象
- ・経口ワクチン散布を鳥取県を含む24都府県で実施

群馬県の発生事例に対する鳥取県の対応

- 1 発生情報の周知と注意喚起(市町村、養豚農場、農協等関係機関)(11/26)
- 2 県内養豚農場の状況確認(11/26)
 - ・県内20養豚農場といのしし農場に異常の有無等を電話聞き取り
⇒ 異常なし、群馬県の養豚農場との疫学関連無し
- 3 農場の野生いのしし等野生動物の侵入防止策の徹底
 - ・侵入防止柵の点検、長靴の衣服の交換、車両消毒、早期通報等を再度徹底するよう指導

今後の豚熱防疫体制(飼養豚)

- 1 飼養豚、いのししへの豚熱ワクチン接種等
 - ・4/5(月)~4/26日(金)に初回一斉接種済(約5万頭)
 - ・繁殖豚等への補強接種及び生まれてくる子豚、導入豚への追加接種を実施中(5/6~10/31までに約5万6千頭接種済)
- 2 ワクチン接種農場の抗体モニタリング(5/17~7/2)
 - ・初回検査対象15農場407頭検査を行い、401頭(98.5%)でワクチンによる抗体陽性を確認。
- 3 ワクチン接種体制強化
 - ・県職員獣医師だけでなく民間獣医師(知事認定獣医師)による接種開始(8/16~)
- 4 農場の野生いのしし等野生動物の侵入防止策の徹底
 - ・侵入防止柵の点検、長靴の衣服の交換、車両消毒、早期通報等を再度徹底するよう指導

今後の豚熱防疫体制(野生いのしし)

- 1 県境付近の野生いのししのモニタリングを強化
平成30年9月から令和3年11月26日までに県内全域で死亡、捕獲された野生いのしし499頭(うちR3年度は東部85頭、中部57頭、西部36頭の計178頭)について全て豚熱陰性を確認。

2 東部県境付近に経口ワクチン散布(約1万個)

- ・ 10月11~17日 第1回経口ワクチン散布終了(4,800個)

- ・ **11月8~17日 第2回経口ワクチン散布終了(4,800個)**

(2回目散布の摂食状況の確認中~11/30)

- ・ 「鳥取県豚熱感染拡大防止対策協議会」に委託して散布

構成	県(農林水産部、生活環境部)、県東部の市町、森林組合連合会、養豚生産者協議会、猟友会、(公社)鳥取県畜産推進機構
----	--



3 狩猟者等への衛生対策

- ・ 狩猟者登録時のチラシ配布や県ホームページでの注意喚起実施

経口ワクチン散布1回目の野生いのししの摂取状況

区分	実施期間	実施地域
餌付け	9/27～10/8	鳥取市国府町 岩美町
散布	10/28～10/22	八頭町 若桜町
回収	10/20～11/2	智頭町

経口ワクチンの散布・回収実績

- ・散布回数 4,800回
- ・回収不能、採食跡有など 4,002回



いのししによるワクチン摂食の様子



一部地域で熊による経口ワクチンの摂食を確認

2回目の回収後(血液抗体が上昇し確認できるようになる12月以降)、散布地周辺で捕獲された野生いのししの血液を調査し、経口ワクチンによる抗体保有状況を確認予定

豚熱対応窓口

(24時間対応しています。)

■生産者の皆さんの相談窓口

鳥取家畜保健衛生所	0857-53-2240	(夜間休日は転送)
倉吉家畜保健衛生所	0858-26-3341	(")
西部家畜保健衛生所	0859-62-0140	(")

■豚熱に係る死亡いのししに関する通報窓口

畜産課	0857-26-7286	
	090-8061-9109	(休日、夜間)

■豚熱に係る野生いのししに関する相談窓口

緑豊かな自然課	0857-26-7979	(夜間休日 0857-26-7111)
中部総合事務所環境建築局	0858-23-3275	(夜間休日 0858-22-8141)
西部総合事務所環境建築局	0859-31-9320	(夜間休日 0859-34-6211)

■平日夜間、休日、祝日相談窓口

県庁受付	0857-26-8663
------	--------------

お願い

- 豚熱は、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。また、感染豚の肉が市場に出回ることもありません。
- 今回使用する豚熱ワクチンは、医薬品、医療機器の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づき、農林水産大臣に承認され、有効性及び安全性が確認されており、豚熱ワクチンを接種した豚肉を食べても問題はありません。
- 野生いのししの検査状況から、県内に豚熱が浸潤している可能性は低いと考えられます。異常な死亡した野生いのししを発見した場合は、県畜産振興局畜産課まで連絡し、その指示に従ってください。
- 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること
などから厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に報道関係者の皆様におかれましては、養豚農場へ立ち入るような取材は防疫上ご遠慮ください。